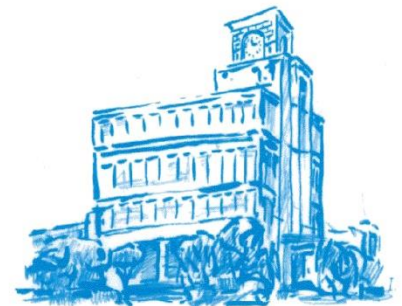


令和6年3月号(No.256)

読書活動の充実に向けて

伊丹市立総合教育センター
所長 山下 拓志郎

現在、NHK大河ドラマ「光る君へ」が放送されています。主人公の紫式部が平安時代に書いた「源氏物語」は、現代でも多くの人々に愛読されています。当時は、口頭での伝承や写本により多くの人に伝わったそうです。千年以上の時を経て、今では、図書館で本を借りることも、書店で購入することも可能となり、電子書籍も身近な存在となってきています。平安時代の人からするとうらやましい限りだと思います。



子どもの読書は、平成13年に『子どもの読書活動の推進に関する法律』が策定され、一か月の間に本を一冊も読まない不読率は、近年改善傾向にありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、最近是不読率が、小学生から高校生まで上昇傾向にあります。

学習指導要領の総則には、「言語能力の育成を図るため、必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて言語活動を充実すること、あわせて、読書活動を充実すること」と示されています。まずは、授業に力を入れ、読書の楽しさを伝えてほしいと思います。

ところで、スポーツ等で『身体を動かす』ことにより爽快感を味わい、自分の人生を豊かなものに行っている人は多いと思いますが、日常的に『心を動かす』ことも必要ではないでしょうか。『心を動かすには』、映画や音楽、美術作品など優れたものを観ることが挙げられますが、最も手軽なものは「読書」ではないでしょうか。「読書」により、登場人物の生き方に「心が動く」ことで、人としての「やさしさ」や「思いやり」など内面的な資質が育まれます。また、「読書」は、思考力や判断力、表現力を培い、取捨選択に悩んだり弱気になったり、落ち込んだりしているときに、進むべき「方向」を示してくれます。

このように、読書は人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠かせないものです。先生方も、本を手にとり、時空を超えた先人との対話を子ども達といっしょに楽しんでみてはいかがでしょうか。

読書活動

(『子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画』「第2章 基本的方針」より)

急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠であり、**全ての子どもたちが読書活動の恩恵**を受けられるよう、社会全体で子どもの読書活動を推進する必要があります。

1.現状

国の調査では、一月間1冊も本を読まない「**不読率**」は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定後、改善されているが、国の目指す数値には届いていません。

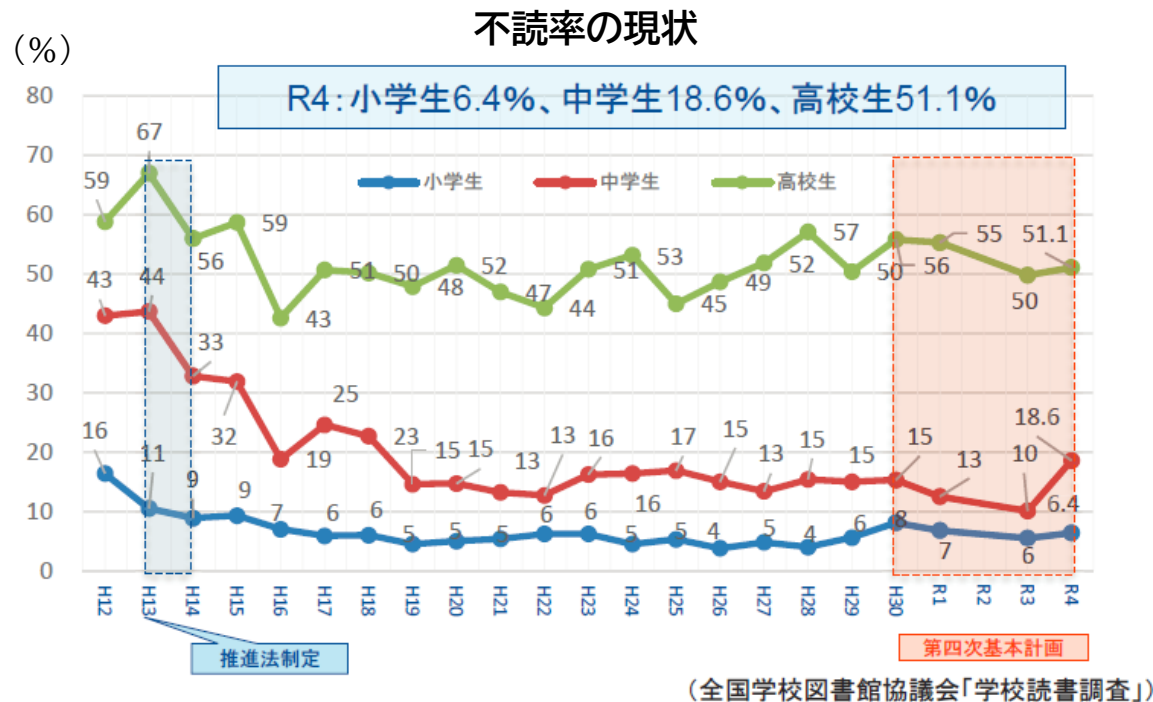
(**目標**は令和4年度末までに小学校2%以下、中学校8%以下、高校生26%以下)

2.取組

(1)発達段階に応じた読書活動

生涯にわたって読書に親しみ、**読書を楽しむ習慣を形成するには**、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。

子どもの発達是多様であり、個々の子どもの状況を十分に勘案した上で、乳幼児期から切れ目ない個別最適な読書活動の推進を目指す必要があります。



就学前

- ・読み聞かせを通して絵本や物語に興味を示す



小学校低学年

- ・読み聞かせから1人読みへ
- ・語彙の量が増え文字から場面や情景をイメージ



小学校中学年

- ・最後まで読み通す子とそうでない子で違いが生まれる
- ・読み通せる子は自分の考えと比較しながら読む
- ・読み通せる子は読む速さが上がり、読む量も増える

小学校高学年

- ・本の選択ができ、好みの本の傾向が現れ始める
- ・読書の幅が広がる子と、この段階でとどまる子が出てくる



中学生

- ・共感したり感動したりできる本を選ぶようになり、読書を将来に役立てようとし始める

高校生

- ・知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる

(2)子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動の推進に当たっては、家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で取り組む必要があります。

- ①多様な子どもたちの**読書機会**の確保
- ②デジタル社会に対応した**読書環境**の整備
- ③子ども視点に立った**読書活動**の推進

参考文献：『子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画』：文部科学省

読書活動実践事例

兵庫県教育委員会作成の実践事例集に北中学校の実践が紹介されました。

単元名

国語科

「本の魅力を説得力のあるプレゼンテーションで、みんなに伝えよう！」

教材名：ビブリオバトルをしよう（東京書籍）
説得力のある提案をしよう（東京書籍）

総合的な
学習の時間

単元名

「公共図書館で「トライやる・ウィーク」
報告会」

1人1台
端末の活用

「1人1台端末を活用した
読書感想文の取組」



「報告会の様子」
兵庫県教育委員会「読書活動の充実について」より

読書活動、図書館教育の実践事例リンク集。

兵庫県教育委員会「読書活動の充実について」

「読書活動推進事業」

児童生徒の自主的な読書活動を推進するため、読書活動推進教員を中心に、学校教育における読書の位置付けやねらいを明確にするとともに、学校図書館を中核とした効果的な取組方法について、実践的な研究を行う。



文部科学省「図書館教育実践事例集」

文部科学省が、学校図書館が新たな取組を行う際の参考にさせていただくため、全国各地の学校図書館によって行われている特徴的な取組を事例集としてまとめ、広く紹介しています。



発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
TEL 072-780-2480
FAX 072-780-2482
開館日 月・火・木・金 : 9:00~21:00
水・土 : 9:00~17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始
総合教育センターHP <https://www.itami.ed.jp/>

<教育相談>
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、
問題等の相談に応じています。
(来所・電話相談)
月・火・木・金 : 9:00~18:00
水・土 : 9:00~17:00

令和5年度連載 (ICT活用事例集)

第12回 中学校 3年生 国語科 (古典) 「万葉集を読んで感想文を書く」

ねらい

schoolTakt にて万葉集 (和歌) の読み方・鑑賞文の書き方を解説し、各生徒が書いた鑑賞文を共有する。

活用効果

鑑賞文をどう描くか、ステップ分けされておりその手順に従えば完成できるように工夫されている。schoolTakt 上で学習を進めると生徒たちは書き直し等の手間が省け、活動時間をより確保できるため、時間内に記載される文字数が増加した。他生徒の鑑賞文も簡単に参照することできるため、お互いの考えを比較し新しい発見に繋がる。